

リリースノート：Dominion[®] KX III & IV ユーザーステーション（バージョン 4.5）

日付：2022 年 5 月

サポート対象のユーザーステーション：DKX3-UST, DKX4-UST

サポート対象の Dominion KX:

DKX3-108, DKX3-116, DKX3-132, DKX3-216, DKX3-232,
DKX3-416, DKX3-432, DKX3-464, DKX3-808, DKX3-816, DKX3-832, DKX3-864
DKX4-101

互換性の情報:

- ・ 本リリースへアップグレードするためには、対象のユーザーステーションでリリース 4.4 が動作している必要があります。
- ・ 接続対象となる Dominion KX III のファームウェアは、リリース **3.6** 以降である必要があります。
- ・ CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) と連携するためには、CC-SG のファームウェアが **10.0** である必要があります。

ユーザーステーションの概要

Dominion KX III および IV ユーザーステーションは、KX III および KX IV KVM-over-IP スイッチに接続されたリモートサーバーおよびワークステーションへの高性能 IP アクセスをユーザーに提供するアプライアンス製品です。また、オプション機能として、CommandCenter 連携機能が用意されており、複数の KVM スイッチへのアクセスを提供します。

KVM 以外へのアクセス方法：VMware 仮想マシン、簡易 Web ブラウザ接続、RDP、VNC、SSH

ユーザーステーションには、高性能且つ利便性に富んだデスクトップユーザーインターフェイスが用意されており、1~3 台（3 台は DKX4-UST のみ）のモニターで複数の KVM-over-IP セッションをサポートしているため、ユーザーは複数（最大 8 台を目安）のサーバーに同時にアクセスして、表示・制御が可能です。

DKX4-UST は、DKX3-UST より高性能なハードウェアです。KX III/KX IV に接続されたターゲットサーバーおよびワークステーションへの快適なリモートアクセスをユーザーに提供し、オプション機能として CommandCenter と連携が可能です。また、DKX4-UST は、DKX3-UST と比較して高性能なハードウェアである事に加え、DKX4-101 のサポート、4K ビデオのサポート、快適且つ複数の KVM-over-IP セッション、最大 3 台のモニター接続をサポートします。

ファームウェアの概要

リリース 4.4 のアップデートであるリリース 4.5 は、以下でご案内する Dominion KX III および IV ユーザステーションの機能と、以前のユーザステーションの全ての機能をサポートしています。詳細は、以下をご覧ください。

Dominion KX ユーザステーション リリース 4.5 の新機能

- ・ **CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) 10.0 に対応** CC-SG 10.0 対応は、本リリースからです。
- ・ **Dominion SX2 への接続をサポート** スタンドアロンもしくは CC-SG を介した Dominion SX2 管理下のシリアルコンソールターゲットへのアクセスをサポートします。
- ・ **ビデオポートグループのサポート** スタンドアロンもしくは CC-SG を介したビデオポートグループ機能の利用をサポートします。ただし、CC-SG 10.0 以降が必要です。
- ・ **ビデオポートグループ利用時のオーディオ機能のサポート** ビデオポートグループ利用時にオーディオソースの指定をサポートします。
- ・ **CC-SG によるユーザステーションの管理機能をサポート** ユーザステーションのファームウェアの更新、バックアップ、設定変更を CC-SG から実行する機能を追加しました。
- ・ **証明書とホストキーの確認を強制するオプションが追加** HTTPS, RPD, SSH のセキュリティ強化の目的で用意されました。
- ・ **NTP サーバーを手動で設定する機能が追加** 異なるネットワーク上のローカル NTP サーバーを使用する事が可能となりました。
- ・ **シングルサインオンの外部リンクとリダイレクトを許可するセキュリティオプションを追加** 柔軟なリモート認証スキームを提供し、ユーザーが操作・許可されたサイトを指定する機能を提供します。
- ・ **Navigator にアクティブな KVM セッションの数を示すインジケータを追加** ユーザーが現在開いているアクティブなユーザー/セッションの数を簡単に識別できるようにしました。
- ・ **初期管理用 API の追加** いくつかの基本的な管理機能を API で提供します。
- ・ **Web アプリケーションのセキュリティ強化** リモートコントロールのセキュリティを強化しました。
- ・ その他修正、セキュリティアップデート、機能強化/拡張、ドキュメントの更新が含まれます。

※ドキュメントは、KX III/KX IV 両方のユーザステーションの情報を 1 つに集約したものになります。

ドキュメント

Dominion KX ユーザーステーションに関する以下のユーザー向けドキュメントをご用意しております。

- **Dominion KX ユーザーステーションガイド**

— ユーザーステーションのユーザーおよび管理者機能に関するドキュメントです。

- **Dominion KX ユーザーステーションクイックセットアップガイド**

— ユーザーステーションの初期セットアップについて記載したドキュメントです。

ユーザーステーションのドキュメントは、ラリタンの Web サイト (<http://www.raritan.com/>) からダウンロードできます。サポートページの「製品を選択してください」のプルダウンメニューから「Dominion KX III ユーザーステーション」を選択すると、ドキュメントがリリースごとに表示されますので、ご希望のリリースをクリックしてください。

オンラインヘルプ ※英語のみ

ユーザーステーションは、[Main Menu]->[Help]->[User Manual]からオンラインヘルプを呼び出すことができます（要インターネット接続）。[Contents]、[Index]、[Search]の各項目を利用して、適切なトピックを参照することが可能で、テキストや画像を用いたユーザーステーションの全容をご参照いただけます。また、このガイドには関連事項へのリンクが多数用意されています。

ラリタンの Web サイトでは、「サポート」セクションからオンラインヘルプをご利用いただくことも可能です。

互換性情報

1. リリース 4.5 にアップグレードするためには、ご使用中のユーザーステーションがリリース 4.4 である必要があります。
2. リリース 4.5 は、以下の KVM-over-IP スイッチへ接続可能です。
 - 1) Dominion KX IV-101 リリース 4.0 以降
 - 2) Dominion KX III リリース **3.6** 以降
3. ユーザーステーションは、Dominion KX, KX II, LX, LX II, KSX II には対応していません。
4. リリース 4.5 は、ラリタンが提供する CommandCenter Secure Gateway **10.0** と連携可能です。

留意事項および重要な情報

ユーザーステーションに関する重要な情報につきまして、以下をご参照ください。

1. CC-SG 連携

- a. ユーザーステーションは、CC-SG の一部のインターフェースのみをサポートしています。
Dominion KX IV、KX III、VMware 仮想マシンへの接続、RDP、VNC、SSH をサポートします。
- b. CC-SG の Proxy Mode は、VNC、RDP、SSH をサポートしていません。
また、VNC、RDP、SSH に対する接続は、CC-SG のログに記録されません。
- c. 本リリースより古いユーザーステーションは、CC-SG による管理は対応していません。

2. Ultra HD 4K ビデオ 4K ビデオは、HD ビデオ (1080p) の4倍のピクセル情報を持っています。快適な映像パフォーマンスを得るためには、新しい KX IV ユーザーステーション (DKX4-UST) を使用してください。KX III ユーザーステーションにて4K ビデオ環境を利用する際には、HDMI 接続ではなく Display Port を使用してモニターと接続してください。

3. ユーザーステーションの Web ブラウザアクセス この機能は、ユーザーステーションのリモートコントロールや Dominion KX III や KX IV などのデバイス管理用の簡易インターフェースです。そのため、証明書の確認やファイルのダウンロード/アップロード、オーディオ、ビデオ、Java、プラグイン、ポップアップなど、最新の Web ブラウザが備えている多くの機能がサポートされていません。また、この機能は、初期状態で無効になっており、有効にするためには管理者権限が必要となります。詳細につきましては、オンラインヘルプをご確認ください。

4. VNC/RDP/SSH 接続 RDP もしくは SSH で接続している場合、Port Navigator では接続中を表す強調表示 (太字) をしません。また、RDP と SSH 両方のインターフェースを持つターゲットは、「open in current」および「close」メニューを表示しません (VNC 接続は表示します)。なお、RDP 接続のターゲットに認証情報が設定されていない場合、Port Navigator から選択しても RDP ウィンドウは起動しません。

5. Port Scanner セカンダリモニター上で Port Scanner を長時間実行していた場合、一時的に停止してしまう既知問題があります。対処としては、一旦 Port Scanner を閉じて再実行するか、[Pause] ボタンを押してから [Resume] ボタンを押す必要があります。こちらは制限事項とさせていただきます。

6. 管理者用初期パスワード 管理者 (admin) に設定された工場出荷時のパスワードは、初回ログイン時に変更することが必須となりました。

7. **2種類の利用者認証** ユーザーステーションでは、(a)ユーザーステーションにログインする認証（ログインユーザー/パスワード）と(b)Dominion KX III にアクセスするための認証が使われます。

(a)ユーザーステーションにアクセスするためには、ユーザーステーションの認証が必要であり、また認証情報によってユーザーステーションの管理機能へのアクセス権限が割り当てられます。これらの認証情報は、ユーザーステーションの管理者によって作成されます。

(b)Dominion KX III の認証情報は、KVM スイッチに接続されているサーバーへの接続可否が判定され、仮想メディアやリモート電源制御といった付加機能の割り当てを行いません。

CC-SG と連携する場合、ユーザーステーションへの認証と KVM スイッチの認証は使用されず、CC-SG の認証情報が利用されます。この場合、ユーザーステーションで認証情報を設定する必要はありません。

なお、LDAP のシングルサインオンを利用している場合、LDAP が KX III の認証情報として利用されません。

8. **利用者毎の認証情報** Dominion KX III の利用者認証情報は、利用者毎に保存されます。CC-SG や LDAP のシングルサインオンを利用する場合を除き、ユーザーは使用する KVM スイッチ毎に各々の利用者認証情報を入力・保存する必要があります。

9. **FIPS 140-2 モード** FIPS 140-2 暗号モジュールを利用する場合、以下の制限事項があります。

a. KX III スイッチのターゲットに接続するためには、FIPS 対応の現行の Windows OS 等や KX III のルート証明書をインストールしたユーザーステーションが必要です。

b. 暗号化された LDAP 接続である LDAPS を利用する環境では、FIPS 140-2 暗号モジュールを使うことはできません。

c. TLSv1.2 を使用する環境で FIPS 140-2 暗号モジュールが有効になっている場合、KX III のターゲットに接続することはできません。

10. **ユーザーブロック機能** KX III の「ユーザーブロック」機能が有効である状態で、ユーザーステーションから誤った利用者認証情報を複数回入力すると、その KX III に対するアクセスが自動的にブロックされます。これを解除するためには、KX III の管理者にお問い合わせください。

11. **ユーザーステーションの停止手順** ユーザーステーションを停止する場合は、[Leave]->[Shut Down]を実行してください。ユーザーステーションが起動状態での電源ボタン押下、もしくは電源プラグを抜いてしまった場合、データベースが破損することがあります。

12. **ビデオ機能に関する留意事項** KX III ユーザーステーションには3つのディスプレイポートが用意されていますが、同時に接続できるモニターは2つまでです。それに対し、KX IV ユーザーステーションは、最大3つのモニターを使用する事が可能です。DisplayPort や HDMI は、映像と音声の両方の信号を利用できますが、音声を利用する場合はご利用のモニターが音声出力に対応している必要があります。

13. **音声に関する留意事項** KVM クライアントの Audio Device 接続設定で [Automatically Connect at Startup] を有効にしていない場合、ターゲットに接続後、手動で接続を行なう必要があります。

14. **ネットワークに関する留意事項** ユーザーステーションのデフォルトのネットワーク設定は、[Automatic (DHCP)] です。静的アドレスを利用する場合は、Dominion KX III の設定より先にネットワーク設定を実施してください。また、Dominion KX III の HTTPS および Discovery (検出ポート) の TCP ポートの設定を **初期値から変更しないでください**。

15. **デュアル LAN ポート** ユーザーステーションの 2 つの LAN ポートは、同じサブネットにも異なるサブネットにも接続可能です。ユーザーステーションの電源を入れた時、もしくは再起動した時に両方の LAN ポートがネットワークに接続されていますと、ユーザーステーションはいずれかのネットワーク接続をデフォルトとして選択します。ただし、いずれか、または両方の接続のネットワーク設定を変更した場合、直近で変更されたネットワークが自動的にデフォルトの接続となります。

(注) デフォルトの接続は [Connection Information] ダイアログで確認できます。

16. **Ctrl+Alt+Del** ユーザーステーションで使用しているキーボードで Ctrl+Alt+Del キーを入力してもターゲットには送信されません。デフォルトではユーザーステーションのシャットダウン、もしくは再起動を実行するダイアログが表示されます。このキーシーケンスをターゲットへ送るためには、ターゲットのウインドウを開いているときに [Send Ctrl+Alt+Del] ボタンを押下するか、ユーザーステーションの [Hotkeys] の設定を変更する必要があります。

17. **仮想メディア** ターゲットサーバーに接続された仮想メディアを切断する際は、「安全な取り外し」または「イジェクト」を実行する事をお勧めします。[Read/Write] (読み取り/書き込み可能) モードが有効の状態での手順を実施せずに仮想メディアを切断した場合、データの損失の恐れがあります。

18. **ファームウェアのダウングレード** ファームウェアのダウングレードはできません。ダウングレードが必要な場合は、サポート窓口までご相談ください (有償対応)。

なお、ファームウェアのアップグレードを行なう場合は、ユーザーステーションのバックアップを取る事を強く推奨します。また、アップグレード中にユーザーステーションの電源は絶対に切らないでください。

19. **KVM のティア構成とブレードサーバーへの接続** 現行のユーザーステーションは、Dominion KX III のティア構成 (ティアスイッチへ直接 IP 接続する事は可能) とブレードサーバーへの接続をサポートしていません。

20. **シリアルポート** ユーザーステーションには運用管理向けのシリアルポートを用意していません。

21. **オンラインヘルプ** オンラインヘルプをユーザーステーションから表示した場合、[email this page], [send feedback], [print this page] の各ボタンは利用できません。これらのボタンを利用したい場合は、インターネット環境に接続された PC 等の Web ブラウザから操作してください。

ファームウェアアップグレード

注意：リリース 4.5 へアップグレードするためには、対象のユーザーステーションでリリース 4.4 以降が動作している必要があります。

ラリタンは、ソフトウェアの強化、新機能、修正を含む新しいファームウェアを提供します。これらのアップグレードは、ラリタンの Web サイト (<https://www.raritan.com/jp/>) から入手可能です。

- 1) 「サポート」 > 「製品を選択してください」 から「Dominion ユーザーステーション」を選択してください。
- 2) 新しいファームウェアリリースのエントリをクリックして、ファイルをダウンロードします。
- 3) アップグレードを実施する前に、必ずリリースノートをご確認ください。
- 4) ファームウェアのアップグレード手順をユーザーステーションのオンラインヘルプで参照します。

ご質問がある場合は、アップグレードを開始する前に、ラリタンのテクニカルサポート窓口へお問い合わせください。